

投稿した当初は、知識不足と能力不足が随所に露見する、論文とは言えないようなものでした。査読者には相当な労力と時間の浪費を強いてしまいました。しかし、多くの指摘を受け、指導して頂きながら調査を完成させた経験が、注意報の改善に繋がった「収束線通過に伴う気温低下と霜」などの後の調査の手本になっており、大変感謝しています。

最近、「多重渦構造の竜巻」について調査を行いました。2000年12月25日に伊豆大島に被害をもたらした竜巻のビデオ画像をPCで解析してみると、複数の小さな渦が親渦の周りを時計回りに回転しているのがわかりました。画像を100回以上も繰り返し見て、渦の様々な振る舞いを発見するうちに、この竜巻を生で見たとき以上の驚きと探究心が湧いてきました。調査資料は多くの方々の協力によりほぼ完全に揃い、調査を進めましたが、専門の方の助言がほしいと思うことが度々ありました。例えば、多重渦に関する文献を読むと「Swirl ratio」という無次元数が多重渦の形成に関わっているらしいのです。「渦運動比率」とでも言うので

しょうか。しかし、現実の竜巻にどう応用して計算すれば妥当なのか、それが意味があることなのか、よくわかりませんでした。

様々な大気現象を実際に見たり感じたりする機会は、大都市よりもむしろ自然環境がありのままに残されている地方の方が多いのではないかと思います。文献・観測資料などの入手は、今や情報技術の恩恵を受けて中央と地方との量的距離的格差がほとんどなくなりましたので、容易です。しかし、調査を進める過程で迷ったとき、わからないときに教を請いたいとなると、地方ではなかなか思うようにはいきません。

気象学会には、インターネットを利用した自由投稿の欄として「気象の広場」があります。セキュリティーの問題や、一部の研究者あるいは管理者の献身的な努力に依存してしまうという危険がありますが、ネット上で情報交換、議論などが行われ、同時に助言も得ることができる欄として発展すれば、大変ありがたいと思っています。



財団法人神奈川科学技術アカデミー 平成14年度研究助成（第一段階）募集のご案内

1. 助成の趣旨及び方法

意欲ある若手研究者が自発的に計画する、神奈川県民及び神奈川県内産業への寄与が期待される先端的科学技術分野の創造的基礎研究に対して助成を行う。

2. 助成対象研究課題

研究課題が、神奈川県民及び神奈川県内産業への寄与が期待され、科学技術発展のためのシーズとして大切な創造的基礎研究であり、企業利益を直接の目的としないもの。

3. 助成対象者

神奈川県内在勤又は在住の若手研究者（おおむね40歳以下）で、勤務先の承諾を得られる方。

4. 助成対象の経費

研究に要する物品購入費、旅費、その他必要な経費。

5. 申請の方法

詳しい申請方法と申請用紙は気象学会事務局にあります。また <http://home.ksp.or.jp/kast/> からダウンロードできます。

申請書送付先：

財団法人 神奈川科学技術アカデミー
教育交流部交流普及課

〒213-0012 川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 614

Tel : 044-819-2032 Fax : 044-819-2097

提出期限：2002年4月10日（水）必着